

□ は健康のもと Vol.213

骨粗鬆症で治療中の方は 歯医者さんに相談しましょう

骨粗鬆症は骨がスカスカになる病気で、治療をしないと骨折をしやすくなり寝たきり状態になる可能性が高くなります。骨粗鬆症の進行を抑える目的や、がんの進行や転移を抑えるための代表的な薬としてビスフォスフォネート製剤があります。これによる治療を受けている方が歯医者さんで歯を抜いたり、外科的な歯周病の治療を受けたりすると、ビスフォスフォネートによって古くなった骨を新しい骨に作り替える機能が損なわれているため、骨を作る細胞（骨芽細胞）の働きが鈍くなります。やがて薬剤関連顎骨壊死という上下のあごの骨がひどく壊れてしまう病気を引き起こすことが最近の研究からわかっています。

骨粗鬆症の治療を受けている方で歯医者さんに受診される方は、薬剤関連顎骨壊死を引き起こす可能性が高いのでぜひ事前に歯医者さんに相談しましょう。



奥羽大学歯学部附属病院
放射線科 教授 原田 卓哉

